



**NS Solutions**

## 2019年3月期 上期 (2018年4月～2018年9月) 決算説明会

---

2018年10月30日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鉄住金ソリューションズ株式会社

# 目次

I . 2019年3月期 上期実績

---

II . 2019年3月期 業績見通し

---

III . トピックス

---

I

## 2019年3月期 上期実績

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

## I - 1. 2019年3月期 上期連結決算ハイライト

		対前年度	(対見通し)
◆ 売上高	1,246億円	+81億円	(+66億円)
◆ 営業利益	113億円	+12億円	(+6億円)
◆ 当期純利益※	72億円	+ 6億円	(+0億円)

※本資料における当期純利益の表記は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表しております。

上期決算のハイライトです。

**売上高** 1,246億円。対前年 +81億円で 6.9%の増収です。

**営業利益** 113億円。対前年 +12億円で 11.9%の増益です。

**当期純利益** 72億円。対前年 +6億円で 9.7%の増益となりました。

## I - 2. 2019年3月期 上期連結決算業績

単位: 億円	2018/3期 上期実績 A	2019/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	2019/3期 上期見通し(4/26) C	対見通し 差異 B-C
売上高	1,166	1,246	+81	1,180	+66
業務ソリューション	768	814	+46	750	+64
サービスソリューション	398	433	+35	430	+3
売上総利益	236	249	+13	248	+1
<売上高総利益率>	<20.2%>	<20.0%>	<-0.2%>	<21.0%>	<-1.0%>
販管費	135	136	+1	141	-5
営業利益	101	113	+12	107	+6
経常利益	105	115	+10	110	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	66	72	+6	72	+0

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

2019年3月期上期(第2四半期累計)の業績(B欄)です。

連結売上高1,246億円、前年同期と比べ、  
 業務ソリューションで +46億円の増収  
 サービスソリューションで+35億円の増収となり、  
 売上高合計は、+81億円の増収となりました。  
 売上高総利益率は20.0%で、前年の20.2%から-0.2%低下しましたが、  
 売上総利益は、増収効果により、前年同期+13億円増益の249億円となりました。  
 販管費は、研究開発や採用・教育の増により+1億円の増。  
 結果、営業利益は+12億円増の113億円、  
 経常利益は+10億円増の115億円となりました。  
 四半期純利益は、72億円と+6億円増となりました。

### I - 3. 2019年3月期上期 サービス・顧客業種別売上高

単位: 億円	2018/3期		2019/3期		対前年差異		コメント
	上期実績 A	うち ITインフラ	上期実績 B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	638	153	678	177	+40	+24	
産業・流通・サービス	277	83	318	115	+41	+32	ネット・サービス、旅行、小売り向けの増
金融	174	48	143	36	-31	-12	メガバンク統合案件のピークアウト
公共公益他	187	22	217	26	+30	+4	官公庁案件の積み上がり
サービスソリューション	377		411		+34		
ITインフラ	156	<153>	158	<177>	+2	<+24>	プロダクトの増
鉄鋼	221		253		+32		NSSMC及びグループ会社向けの増
子会社等	151		158		+7		
合計	1,166		1,246		+81		
(参考)NSSMC向け	(219)		(246)		(+27)		
受注高	1,193		1,380		+187		業務ソリューション +187 サービスソリューション+0

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6

売上の対前年同期比較をもう少し詳細に見ますと、

- ・業務ソリューションでは、  
産業・流通・サービスは、+41億円、  
金融は-31億円、  
公共公益は、官公庁向けが活発で+30億円です。
- ・サービスソリューションは、  
ITインフラが+2億円、鉄鋼が+32億円です。  
サービスソリューションとしては、合わせて+34億円の増収です。
- ・子会社等は、+7億円の増収です。
- ・なお、新日鉄住金向け売上は、246億円と対前年+27億円の増収です。

受注は1,380億円で前年に比べ+187億円増加しました。  
内訳は、業務ソリューションが+187億円、サービスソリューションが横ばいです。  
業務ソリューションは、金融の統合案件ピークアウトによる減50億円がありましたが、公共公益で+170億円、及び産業・流通・サービスで+60億円があり、+187億円と大きく伸びました。  
サービスソリューションはITインフラ、鉄鋼ともに前年並みの受注水準です。

## I - 4. 2019年3月期 上期四半期連結決算業績

単位: 億円	2018/3期			2019/3期			対前年差異		
	1Q期 実績	2Q期 実績	上期 実績	1Q期 実績	2Q期 実績	上期 実績	1Q期 差異	2Q期 差異	上期 差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	582	584	1,166	584	662	1,246	+3	+78	+81
業務ソリューション	400	368	768	375	439	814	-26	+72	+46
サービスソリューション	181	216	398	210	223	433	+28	+7	+35
売上総利益	115	121	236	122	127	249	+6	+6	+13
<売上高総利益率>	<19.8%>	<20.7%>	<20.2%>	<20.8%>	<19.2%>	<20.0%>	<+1.0%>	<-1.5%>	<-0.2%>
販管費	69	66	135	70	66	136	+1	-0	+1
営業利益	46	55	101	51	62	113	+5	+7	+12
経常利益	49	56	105	53	62	115	+4	+7	+10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	29	37	66	30	42	72	+1	+5	+6
(参考)NSSMC向け	(97)	(122)	(219)	(127)	(119)	(246)	(+30)	(-3)	(+27)

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

7

上期の四半期別です。

2Q(E欄)は売上高は662億円で+78億円の増収です。

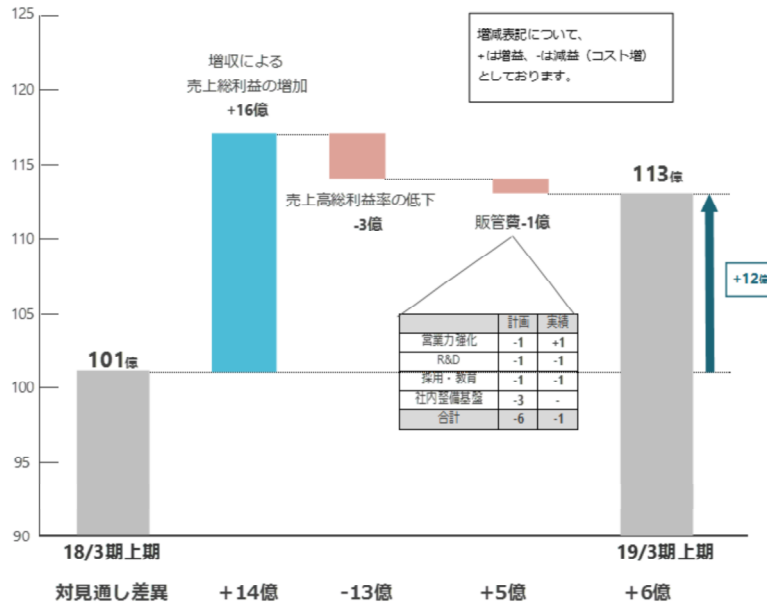
売上総利益は、+6億円の127億円となりました。

販管費は横ばい、営業利益は+7億円の増益で62億円となりました。

# I - 5 . 2019年3月期 上期連結営業利益分析

対前年

(億円)



Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8

連結営業利益の対前年同期で+12億円増の113億円となりました。








II

## 2019年3月期 業績見通し

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

## II-1. サービス・顧客業種別の市場認識

市場認識		市場動向
<b>業務ソリューション</b>		
産業・流通・サービス	ネット・サービス、旅行、小売り分野での大規模刷新案件等により堅調。	
金融	メガバンクは、海外展開を含む中期的な成長戦略を踏まえたIT投資意欲は高いものの、案件化に向けて慎重さが目立つ。証券の投資は堅調。	
公共公益他	官公庁分野は、インフラ整備、セキュリティ対応力強化等の案件受注増により高稼働が継続。テレコムは、プラットフォームサービス向けスクラム開発案件等により拡大。	
<b>サービスソリューション</b>		
ITインフラ	ITインフラアウトソーシングニーズは、顧客側のリソース不足を背景に引き続き堅調。クラウド、セキュリティ対応、VDI/DaaS等へのIT投資が継続。AI関連投資は活況。	
鉄鋼	NSSMCの2020年中期経営計画達成に向け製鉄所を中心にIT投資が活発。	

全般にIT投資は活況ですが、人材供給が成長の制約要因になりつつあります。

## II -2. 2019年3月期 連結業績見通し

単位: 億円	2018/3期		2019/3期		対前年		2019/3期 期首 見通し E	対見通し 差異 D-E
	下期実績	年度実績	下期見通し	年度見通し	下期 差異	年度 差異		
	A	B	C	D	C-A	D-B		
売上高	1,277	2,442	1,334	2,580	+57	+138	2,470	+110
業務ソリューション	843	1,611	891	1,705	+48	+94	1,605	+100
サービスソリューション	434	831	442	875	+9	+44	865	+10
売上総利益	255	491	261	510	+7	+19	508	+2
<売上高総利益率>	<19.9%>	<20.1%>	<19.6%>	<19.8%>	<-0.3%>	<-0.3%>	<20.6%>	<-0.8%>
販管費	129	264	134	270	+5	+6	274	-4
営業利益	126	227	127	240	+1	+13	234	+6
経常利益	126	231	130	245	+4	+14	240	+5
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	149	88	160	+4	+11	157	+3

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

11

19年3月期通期の業績見通しです(D欄)。

(対前年度、対当初見通し)

- ・売上は、 2,580億円 (+138億円、+110億円)
- ・売上総利益は 510億円 (+19億円、+2億円)
- ・販管費は 270億円 (+6億円、-4億円)
- ・営業利益は 240億円 (+13億円、+6億円)
- ・経常利益は 245億円 (+14億円、+5億円)
- ・当期利益 160億円 (+11億円、+3億円)

と致します。

## II-3. 2019年3月期 連結業績 上下別

単位: 億円	2019/3期 期首見通し			2019/3期 修正見通し			対期首見通し		
	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	上期 実績	下期 見通し	年度 見通し	上期 差異	下期 差異	年度 差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	1,180	1,290	2,470	1,246	1,334	2,580	+66	+44	+110
業務ソリューション	750	855	1,605	814	891	1,705	+64	+36	+100
サービスソリューション	430	435	865	433	442	875	+3	+7	+10
売上総利益	248	260	508	249	261	510	+1	+1	+2
<売上高総利益率>	<21.0%>	<20.2%>	<20.6%>	<20.0%>	<19.6%>	<19.8%>	<-1.0%>	<-0.6%>	<-0.8%>
販管費	141	133	274	136	134	270	-5	+1	-4
営業利益	107	127	234	113	127	240	+6	+0	+6
経常利益	110	130	240	115	130	245	+5	-0	+5
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	85	157	72	88	160	+0	+3	+3
(参考)NSSMC向け	(240)	(235)	(475)	(246)	(239)	(485)	(+6)	(+4)	(+10)

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

12

2019年3月期通期の業績見通しですが、期首の見通しとの対比です。  
 上期は、今まで説明いたしました通りです。

下期については

売上高1,334億円(対当初+44億円)

売上総利益261億円(対当初+1億円)

売上高総利益率はプロダクト販売増により、19.6%とし、当初計画に対し  
 -0.6%下げています。

販管費134億円と対当初+1億円の増とし、

営業利益は127億円、経常利益130億円と

当初下期計画通りです。

下期の売上増には、大型プロダクト販売30億円を入れています。

## Ⅱ-4. 2019年3月期 下期見通し サービス・顧客業種別売上高

単位:億円	2018/3期		2019/3期		対前年差異		コメント
	下期実績 A	うち ITインフラ	下期見通し B	うち ITインフラ	B-A	うち ITインフラ	
業務ソリューション	700	153	747	153	+47	-0	
産業・流通・サービス	311	101	322	95	+11	-6	ネット・サービス、旅行、小売り向けの増
金融	161	37	162	39	+1	+3	メガバンクは案件化に慎重、証券は堅調
公共公益他	228	16	263	19	+35	+3	官公庁向け大型プロダクト案件による増
サービスソリューション	406		414		+8		
ITインフラ	171	<153>	172	<153>	+1	<-0>	
鉄鋼	235		242		+7		NSSMCグループの増
子会社等	171		172		+1		
合計	1,277		1,334		+57		
(参考)NSSMC向け	(237)		(239)		(+2)		
期首受注残	1,201		1,344		+144		業務ソリューション +113 サービスソリューション+31

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

13

下期の売上見通しですが、

- ・業務ソリューションは、+47億円の増です。  
  産業・流通サービスが、+11億円の増、金融はほぼ横ばい、公共公益が+35億円。
- ・サービスソリューションは、+8億円の増です。  
  ITインフラは、ほぼ横ばい、鉄鋼は+7億円の増で、合わせて+8億円の増を見込んでいます。
- ・子会社等は、+1億円の増です。

売上合計では、+57億円の増加となります。

上期末受注残は1,344億円で対前年同期+144億円の増です。

## Ⅱ-5. 2019年3月期 連結業績見通し サービス・顧客業種別売上高

単位:億円	2018/3期		2019/3期		対前年差異		2019/3期		対期首見通し差異	
	実績 A	ウチ ITインフラ	見通し B	ウチ ITインフラ	B-A	ウチ ITインフラ	期首見通し C	ウチ ITインフラ	B-C	ウチ ITインフラ
業務ソリューション	1,338	306	1,425	330	+87	+24	1,325	300	+100	+30
産業・流通・サービス	589	184	640	210	+51	+26	615	180	+25	+30
金融	334	85	305	75	-29	-10	345	80	-40	-5
公共公益他	415	38	480	45	+65	+7	365	40	+115	+5
サービスソリューション	783		825		+42		815		+10	
ITインフラ	326	<306>	330	<330>	+4	<+24>	340	<300>	-10	<+30>
鉄鋼	456		495		+39		475		+20	
子会社等	321		330		+9		330		-	
合計	2,442		2,580		+138		2,470		+110	
(参考)NSSMC向け	(457)		(485)		(+28)		(475)		(+10)	

Copyright ©2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

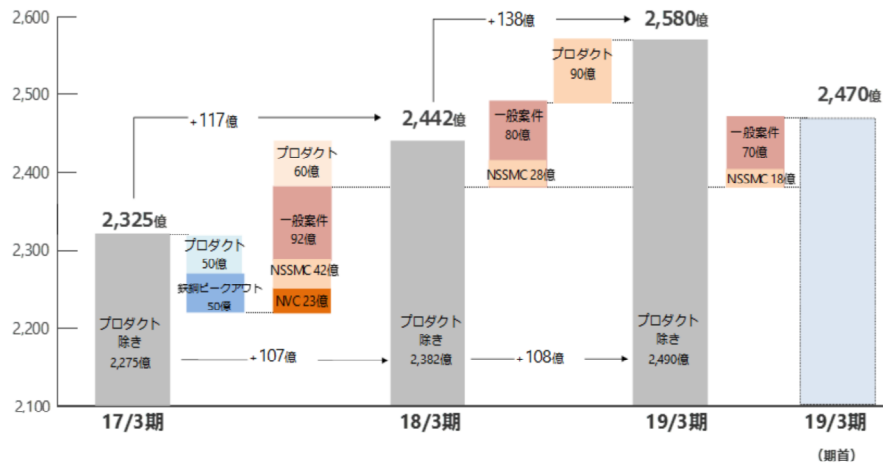
14

サービス・顧客業種別の売上について、今年度通期ではこちらようになります。  
通期の売上見通しは2,580億円と前年と比べ+138億円の増となります。金融の  
ピークアウトはありますが、その他セグメントは増収となります。

## Ⅱ-6. 売上高増減分析

対前年

(億円)



Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

15

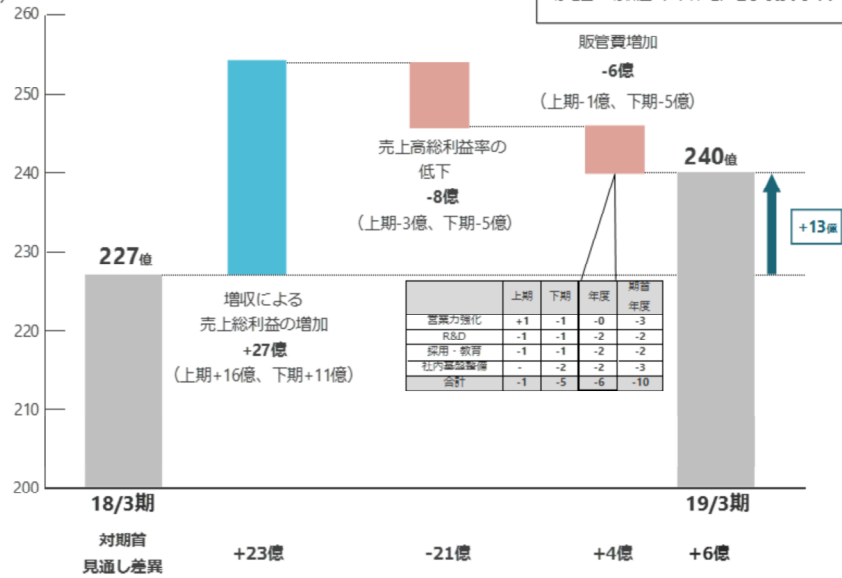
2019年3月期売上は2580億円と対前年に比べ138億円の増収です。  
これはプロダクト販売を除いて、108億円の増収です。

グラフ下段はプロダクト除きの構造ベースでの売上です。  
17年3月期→18年3月期+107億円、18年3月期→19年3月期+108億円と  
通常案件で100億円規模の成長となっています。

## Ⅱ-7. 2019年3月期 連結営業利益分析

対前年

(億円)



Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

16

2019年3月期の営業利益見込みを前年対比します。

営業利益は+13億円増益の240億円と致します。



## Ⅱ-8. 配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

### 1 株当たり年間配当金の計画

**2019年3月期**

(参考) 2018年3月期

(通期)

**55円**

50円

2Q末に1株当たり27.5円を配当致します。期末に1株当たり27.5円を配当する予定です。

配当につきましては、当初計画通り年間配当金55円と致します。  
中間で27.5円の配当を致します。期末配当は27.5円を予定しております。

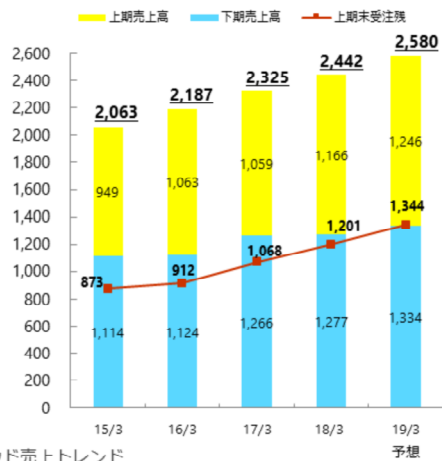
III

# トピックス

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

### Ⅲ-1. 構造的事業成長の持続①

(単位：億円)



クラウド売上トレンド

年度	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3 予想
上期売上高	949	1,063	1,059	1,166	1,246
下期売上高	1,114	1,124	1,266	1,277	1,334
売上高	2,063	2,187	2,325	2,442	2,580

※ 19/3期上期は実績、下期は見通し

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

- ・ アカウント戦略に基づく事業部間の営業連携推進
- ・ ITパートナー戦略に基づく顧客とのリレーション強化による長期案件の獲得
- ・ 持続的事業成長を支える直営リソースの拡充

上期末従業員数 (人)

	14/9	15/9	16/9	17/9	18/9
従業員数	5,381	5,665	5,898	6,286	6,454

受注残については、ストックビジネス化の着実な進捗から毎年増加し、今年度上期末受注残は1,344億円、対前年+144億円となりました。

クラウドの売上については、

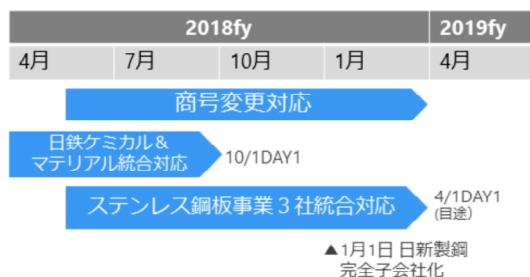
2019年3月期上期の売上は77億円、対前年同期+5億円と通期計画165億円に対し着実に進捗しており、年度計画達成を目指します。

2018年9月末の従業員数は6,454人と対前年比+168名の増加となっています。

### Ⅲ-1. 構造的事業成長の持続②：新日鐵住金対応

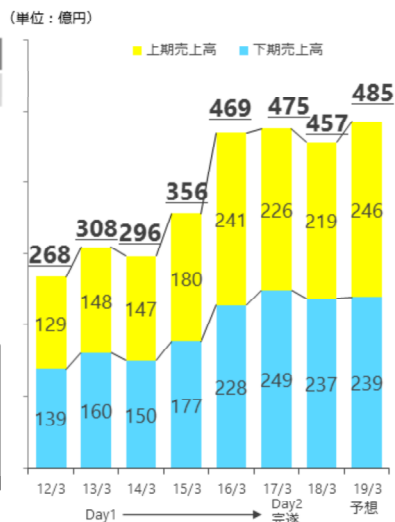
● 商号変更およびグループ事業体制強化への対応 <5月16日新日鐵住金発表>

● (参考) 新日鐵住金向け売上高の推移



**当社商号変更 <5月16日発表>**

当社の商号を2019年4月1日付で「新日鐵住金ソリューションズ株式会社」から「日鉄ソリューションズ株式会社」に変更いたします。



新日鐵住金対応です。

商号変更及びグループ事業体制強化は5月16日に発表になったものです。スケジュールに沿ってグループ会社の体制変更等を進めています。

当社も来年4月より社名を日鉄ソリューションズ株式会社に変更します。

右側のグラフは、新日鐵住金向け売上高の推移ですが、

2018年度は高度IT活用のシステム投資が活発であることから、

通期で485億円と、統合Day2ピークであった2017年3月期の475億円を超える規模を見込んでいます。

## Ⅲ-2. 自己株式の取得状況

### 1. 自己株式の取得に関する決議内容

(2018年8月2日取締役会決議)

- (1)取得する株式の種類 普通株式
- (2)取得する株式の総数 4,700,000 株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.96%)
- (3)株式の取得価額の総額 10,000 百万円(上限)
- (4)取得期間 2018年8月6日から2019年3月22日まで

### 2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計

(2018年9月30日現在)

- (1)取得した株式の総数 632,800株
- (2)株式の取得価額の総額 2,165,337,000円

Copyright © 2018 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

21

最後に自己株式の取得についてご説明いたします。

当社では、資本効率の向上および機動的な資本政策を遂行するために自己株式の取得を実施することといたしました。

内容は記載の通りです。

この上期末で21億65百万円を取得しました。

2018年8月6日から2019年3月22日まで、自己株取得可能な営業日数は143日で、9月末までは日数比で23.1%です。

予定額100億円に対し、取得額は、21.7億円で金額比では、21.7%となっていて、日数比見合いの取得金額となっています。

## 主要ニュース・プレスリリース①

- 4月 2日 りそな銀行、新日鉄住金ソリューションズとJIPDECと共に住宅ローン電子契約サービスの提供開始
- 4月 2日 (日鉄日立システムエンジニアリング株式会社) 電子帳簿保存法スキャナ保存申請によりペーパーレス化を促進 統合電子帳票パッケージ『Paples』 ver.5.2販売開始
- 4月 5日 ローソン、マルチクラウドの活用でITインフラの最適化により運用管理コストを大幅削減 既存システムをマネージド・クラウドサービス「absonne」(アブソヌ)へ移行
- 4月19日 NVC、Carbon Black社よりEmerging Partner of the Year 2017を受賞
- 5月 8日 【ITRおよび富士キメラ総研調べ】国内DaaS市場でクライアント仮想化ソリューション「M<sup>3</sup>DaaS@absonne」が5年連続シェア1位を獲得
- 5月16日 商号の変更並びに定款の一部変更に関するお知らせ
- 5月24日 スターフライヤー、9年連続顧客満足度第1位のその先へ、『攻めのIT』と『守りのIT』の両立を求めNSFITOSを採用
- 5月28日 新日鉄住金ソリューションズが「つくばスペースキャンプ2018」に特別協力。ロケット打ち上げから国際宇宙ステーション到達を目標としたプログラミング講座を提供
- 5月31日 社内有志の共同執筆による小説「A/Identify-アイデンティファイ-」を出版
- 7月11日 クロスコンパス社のManufacturing-IX(M-IX)の提供開始
- 7月12日 「DataRobot Partner of the Year2017」受賞

## 主要ニュース・プレスリリース②

- 7月25日 エネルギー供給プラント向けに「IoX®ソリューション」を納入・運用開始
- 8月 2日 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
- 8月15日 オリコ、AIを活用したデータ分析プラットフォームを採用
- 8月21日 (株式会社ネットワークバリューコンポネッツ) NVC、次世代エンドポイントセキュリティのセキュリティ運用サービス(MDR)提供を開始
- 8月27日 「AgileWorks Sales of the year」受賞
- 8月30日 三菱UFJニコスと新日鉄住金ソリューションズ、与信業務やコールセンター業務でAI導入へ
- 9月12日 明治安田生命向けに、AIを活用したデータ分析プラットフォーム導入
- 9月13日 NSSOL、JAXA科学衛星データ処理システムの情報基盤を刷新
- 9月21日 神戸大学と新日鉄住金ソリューションズが、ネーミングライツに関する協定を締結
- 9月25日 大阪大学と新日鉄住金ソリューションズが、ネーミングライツに関する協定を締結
- 10月1日 新日鉄住金ソリューションズ、「Oracle Cloud at Customer」を活用したクラウド・サービスを提供開始
- 10月9日 Oracle Partner Awards「Business Value Excellence Award 2018」受賞
- 10月10日 エプソン、機械学習プラットフォームDataRobotにより予測精度を50%以上向上
- 10月18日 機械学習プラットフォームDataRobotを旭化成に導入

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。





<https://www.nssol.nssmc.com/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。  
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。